

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月13日

上場会社名 アズマハウス株式会社
 コード番号 3293 URL <http://azumahouse.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 東 行男
 (氏名) 西田 明美
 配当支払開始予定日 — TEL 073-475-1018

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,354	△25.9	698	△44.7	920	△22.6	616	△20.7
26年3月期第3四半期	9,928	—	1,262	—	1,189	—	777	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	156.81	152.66
26年3月期第3四半期	237.98	229.93

- (注) 1. 当社は平成25年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしております。
 2. 平成25年8月1日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
 3. 当社は平成25年12月17日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場したため、平成26年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成26年3月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	24,100	11,553	47.9
26年3月期	21,192	11,187	52.8

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 11,553百万円 26年3月期 11,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,286	0.4	1,675	1.0	1,675	6.5	1,034	0.3	263.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	4,031,700 株	26年3月期	4,031,700 株
27年3月期3Q	100,000 株	26年3月期	100,000 株
27年3月期3Q	3,931,700 株	26年3月期3Q	3,268,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日本銀行の金融政策の効果などを背景に企業業績の改善や雇用情勢の好転が見られ、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、景気の先行きは、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響や海外経済の減速懸念などにより、依然として不透明な状況が続いております。

不動産市場におきましては、消費増税に伴う駆け込み需要の反動により、新設住宅着工戸数は持家・分譲住宅を中心に昨年の3月以降弱含んでおり、先行きにつきましても当面、同様の傾向が続くものと見込まれております。

このような事業環境の中、当社の主力事業である不動産・建設事業におきましては、現在進めております中期経営計画に則り、和歌山県下の和歌山市及び岩出市に設置した住宅展示場による集客を軸にした既存エリアでのシェア深耕、平成25年12月に行った東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）市場への上場による知名度向上を活かし、大阪府大阪狭山市の狭山金剛店出店による事業エリアの拡大を進めて参りました。

その結果、当第3四半期累計期間におきましては、売上高73億54百万円（前年同期比25.9%減）、経常利益9億20百万円（前年同期比22.6%減）、四半期純利益は6億16百万円（前年同期比20.7%減）となりました。

セグメントの販売状況を示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(千円)	前年同期比 (%)	内容
不動産・建設事業	5,519,790	△34.3	土地分譲220区画 2,345,217千円 建物163棟 2,322,397千円 (うち売建56棟、建売77棟、注文建築30棟) リフォーム工事 298,108千円 仲介手数料等 250,305千円
不動産賃貸事業	1,085,011	3.7	居住用 847戸 632,844千円 テナント事業用 224店舗 376,542千円 駐車場その他 75,624千円
土地有効活用事業	279,807	257.5	プラン提案型建築受注販売
ホテル事業	469,742	15.4	ホテル室料、飲食売上等
合計	7,354,351	△25.9	—

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 不動産・建設事業

不動産業界におきましては、消費増税の駆け込み需要の反動減の影響があり、低金利の住宅ローン、住宅取得支援策の実施の下支えがある中で、全体として軟調に推移しました。しかしながら、一次取得層を中心とする住宅需要への影響は限定的であり、着工ベースでは回復の兆しも見え始めております。また、当社は東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）市場への上場による知名度向上を背景に、既存マーケットにおけるシェア深耕を図っておりますが、消費増税後の消費マインド低下は根強く、建物販売棟数が計画を若干下回りました。その結果、売上高は55億19百万円と前年同期と比べ28億77百万円の減少（前年同期比34.3%減）、セグメント利益6億2百万円と前年同期と比べ3億56百万円の減少（前年同期比37.2%減）となりました。

主な内容としては、分譲土地販売、分譲住宅販売、建売住宅販売、注文建築、リフォーム、不動産仲介であります。

② 不動産賃貸事業

売上高は10億85百万円と前年同期と比べ38百万円の増加（前年同期比3.7%増）、セグメント利益4億61百万円と前年同期と比べ36百万円の減少（前年同期比7.4%減）となりました。主な内容としては、賃料収入、管理手数料であります。

③ 土地有効活用事業

売上高は2億79百万円と前年同期と比べ2億1百万円の増加（前年同期比257.5%増）、セグメント利益13百万円と前年同期と比べ29百万円の増加（前年同期は15百万円の損失）となりました。主な内容としては、プラン提案型建築受注販売であります。

④ ホテル事業

売上高は4億69百万円と前年同期と比べ62百万円の増加（前年同期比15.4%増）、セグメント利益1億5百万円と前年同期と比べ60百万円の増加（前年同期比136.5%増）となりました。主な内容としては、ホテル宿泊、飲食であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は241億円となり、前事業年度末に比べ29億7百万円増加しました。

流動資産は100億68百万円となり、前事業年度末に比べ9億92百万円の増加となりました。これは主として、現金及び預金の減少12億81百万円、分譲用地仕入れに伴う販売用不動産の増加16億97百万円及び未成工事支出金の増加5億45百万円を反映したものであります。

固定資産は140億14百万円となり、前事業年度末に比べ19億18百万円増加しました。これは主として賃貸用不動産の新規取得等に伴う有形固定資産の増加19億42百万円を反映したものであります。

負債は125億46百万円となり、前事業年度末に比べ25億41百万円増加しました。

流動負債は42億58百万円となり、前事業年度末に比べ4億30百万円の増加となりました。これは主として、販売を目的とした土地の取得資金の借入に伴う短期借入金の増加8億86百万円、販売及び賃貸を目的とした不動産の取得資金の借入に伴う1年内返済予定の長期借入金の増加2億29百万円、1年内償還予定の社債の減少1億円及び未払法人税等の減少4億19百万円を反映したものであります。

固定負債は82億88百万円となり、前事業年度末に比べ21億11百万円の増加となりました。これは主として販売及び賃貸を目的とした不動産の取得資金の借入に伴う長期借入金の増加21億34百万円を反映したものであります。

純資産は115億53百万円となり、前事業年度末に比べ利益剰余金の増加3億41百万円により3億66百万円の増加となりました。これは主として、当事業年度に支払う配当金計上による繰越利益剰余金2億75百万円の減少及び四半期純利益6億16百万円を計上したためであります。自己資本比率は、前事業年度末の52.8%から47.9%と低下する結果となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は概ね予定通りに推移しており、通期の業績につきましても、現時点では、平成26年5月14日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,155,117	2,873,776
受取手形及び売掛金	22,446	35,416
販売用不動産	3,886,065	5,583,474
未成工事支出金	369,265	915,112
貯蔵品	9,603	9,669
繰延税金資産	62,261	33,898
その他	586,571	630,094
貸倒引当金	△15,318	△12,640
流動資産合計	9,076,014	10,068,801
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,384,858	4,466,142
土地	6,779,398	8,437,171
その他(純額)	184,937	388,152
有形固定資産合計	11,349,195	13,291,466
無形固定資産	39,953	38,853
投資その他の資産	707,091	684,606
固定資産合計	12,096,240	14,014,927
繰延資産	20,132	16,463
資産合計	21,192,387	24,100,192

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,302	10,286
工事未払金	424,934	407,144
短期借入金	636,900	1,523,200
1年内償還予定の社債	208,800	108,800
1年内返済予定の長期借入金	1,236,402	1,465,933
未払法人税等	425,569	5,669
賞与引当金	38,885	20,076
その他	846,645	717,346
流動負債合計	3,828,440	4,258,456
固定負債		
社債	394,600	350,200
長期借入金	5,415,309	7,549,643
資産除去債務	59,486	61,216
その他	307,246	327,081
固定負債合計	6,176,643	8,288,141
負債合計	10,005,083	12,546,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	596,763	596,763
資本剰余金	528,963	528,963
利益剰余金	10,146,002	10,487,319
自己株式	△133,178	△133,178
株主資本合計	11,138,550	11,479,868
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,753	73,725
評価・換算差額等合計	48,753	73,725
純資産合計	11,187,303	11,553,593
負債純資産合計	21,192,387	24,100,192

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	9,928,734	7,354,351
売上原価	6,785,543	4,720,526
売上総利益	3,143,190	2,633,825
販売費及び一般管理費	1,880,215	1,935,224
営業利益	1,262,975	698,601
営業外収益		
受取利息	608	580
受取配当金	8,644	40,711
受取手数料	19,266	15,891
保険解約返戻金	—	60,769
匿名組合投資利益	6,419	183,165
その他	25,072	35,142
営業外収益合計	60,012	336,260
営業外費用		
支払利息	107,846	103,081
株式交付費	18,214	—
その他	7,451	11,650
営業外費用合計	133,513	114,731
経常利益	1,189,474	920,130
特別利益		
固定資産売却益	27,421	24,314
受取補償金	23,499	4,135
特別利益合計	50,921	28,449
特別損失		
固定資産売却損	1,021	—
固定資産除却損	9,266	0
特別損失合計	10,288	0
税引前四半期純利益	1,230,107	948,580
法人税、住民税及び事業税	428,030	302,072
法人税等調整額	24,370	29,970
法人税等合計	452,400	332,043
四半期純利益	777,707	616,536

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月 27日定時株主 総会	普通株式	275,219	70	平成26年3月 31日	平成26年6月 30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	不動産・建設事業	不動産賃貸事業	土地有効活用事業	ホテル事業	
売上高					
外部顧客への売上高	8,397,379	1,046,096	78,271	406,986	9,928,734
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,397,379	1,046,096	78,271	406,986	9,928,734
セグメント利益又は損失 (△)	959,299	498,348	△15,602	44,414	1,486,460

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,486,460
全社費用(注)	△296,985
四半期財務諸表の経常利益	1,189,474

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	不動産・建設事業	不動産賃貸事業	土地有効活用事業	ホテル事業	
売上高					
外部顧客への売上高	5,519,790	1,085,011	279,807	469,742	7,354,351
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,519,790	1,085,011	279,807	469,742	7,354,351
セグメント利益	602,322	461,585	13,662	105,039	1,182,610

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,182,610
全社費用(注)	△262,479
四半期財務諸表の経常利益	920,130

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。